

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名： 寿生の丘

施設種類： グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護施設(該当に○)

日時： R6年 4月 22日 14時 ～ 15時

会場： ケアハウス寿生の郷 会議室

出席者：	利用者代表	1人	駅前交番所長	1人
(人数)	利用者家族	1人	高齢者あんしん支援センター職員	1人
	地域住民の代表	1人	出雲市職員	1人
	その他(GH管理者・GH係長・保育園園長・特養施設長・総務部長)			5人

(議題)

1：事業（活動）報告

2：意見交換

1. グループホーム管理者より事業（活動）報告

(1) R5年度第6回開催以降の活動報告等

- ・日課：ラジオ体操、リハビリ体操など、家事（洗濯物干し、ゴミ箱づくりなど）
- ・日々の活動：塗り絵、歌唱、脳トレ、パズル、積み上げ、ドライブ（お花見）など
- ・入退所報告：2名の入所あり。90歳女性要介護2の方（介護老人保健施設より）、84歳女性要介護4の方（在宅（入院先）より）、4/25 90歳女性要介護2の方入所予定
1名の退所あり。102歳女性要介護4の方（体調を崩され入院。GHでの生活難しくそのまま退所となる）
入院：88歳女性要介護2の方。1ヶ月ほどの予定。
- ・内部研修：高齢者虐待防止（2月）リスクマネジメント（3月）
- ・外部研修：介護基礎研修（4名）集団指導（3/27）
- ・その他：避難訓練（3/22）介護相談員来所2名（4/16）

(2) 入居者の状況報告（3月31日現在）

入所者13名（男性0名）（女性13名）〔年齢81～98歳〕

《DS 管理者より事業報告》

2, 3 月体調不良で休みがちだった方も暖かくなるにつれ体調が整い新年度をスタートできた。ドライブではGHの入居者の方も数名一緒にお出掛けし喜ばれたとのことで、これをきっかけに合同で活動が再開できればと思っている。3月初旬に認知症をかかえる家族の会から認知症の施策を構築するための取り組みとしてご利用者、ご家族の聞き取り調査の依頼があり4名紹介した。会より集計が終わったとの報告があり、どなたも高評価だったとの話をいただいた。また、一般DSでは難しくなり認知症DSにとの話もよく聞くので、そういったことも踏まえて居心地の良い場所であり続けたいと思った。

2. 意見交換

《駅前交番所長》

- ・3月に連続して特殊詐欺の被害が発生した。4/8から17日まで特殊詐欺被害注意報を出し被害防止を呼び掛けた。年金の払い戻し、有料サイトの料金未納、高額当選のメールなど受領の手数料で電子マネーを購入させる手口で被害にあったなど架空請求詐欺が増えている。高齢者と接触がある際には注意を呼び掛けてもらいたい。交通事故では高齢者の事故が6割ほどある。去年の死亡事故は22件あったがそのうち9件が歩行中、横断中の事故。外出中など利用者の安全第一で行動してもらいたい。

《市役所》

- ・特にありません

《地域ボランティア》

- ・私たちも段々と高齢者の域に入ってきている。階段を踏み外してたまたま骨折しなかったが、運動をしないといけないと感じた。こちらで運動をしているのは良いことだと思う。

《あんしん支援センター》

- ・介護度が片方のユニットが1.6と低めだが、身体の動きは良いが認知のほうが重いということがあるのか。

〈GH 管理者〉半分くらいの方が押し車を忘れたりなど転倒リスクがある。付き添いなく歩ける方は3名いる。介護度2の方が多いが、片方のユニットは介護度4の方がいて平均介護度が上がっている。

- ・転倒リスクがある中、気を付けて対応されている。

《ご家族》

- ・毎月連絡表などで良く知らせてもらって有難い。なかなか面会に来られないが状態がよくわかり安心している。

《ご利用者》

- ・よくわかりませんが、お話ほど聞いて帰ろうかと思っている。

〈GH 管理者〉ほかの利用者が寒いと言われたら自分の部屋から掛物を持ってこられたり世話焼きで優しい方。

《総務部長》

- ・DSの聞き取り調査について。他の施設で「座りなさい」などの対応があったことは残念。ご利用者は80, 90代の方が多いと思うが、戦中、戦後どん底から這い上がって今ある方々。お世話する年代は中年から下の世代だと思うが、尊敬する気持ちがあればそんな態度や言葉は出ない。そのような気持ちがなければ十分な良いケアはできない。

入居者数がなかなか増えないことについて。職員確保が難しく入居を抑えながらとなっているが、だんだん職員も揃ってきた。100%ではないがシルバー人材センターやパート職員で隙間を補いながら良いケアができるようになってきた。申し込み、待機も多くあるので出来るだけ早くお世話できればと思っている。

GHで男性職員から育児休暇の希望があり取得した。これからは大事なこと。法人では初めてのことだったが良いことだった。

《保育園園長》

- ・充実した活動をしている。入居者も良かったと話され、良いサービスをしていると感じる。質の高いサービスをするには職員の資質向上が欠かせない。研修も充実していると思った。

レジュメにある集団指導とはどういったものか。

〈GH 管理者〉介護報酬、加算など法的な部分で変更があり、取り組み等細かい説明があった。

《特養施設長》

- ・リスクマネジメントとして何か取り組みをしているか。

〈GH 管理者〉身体拘束防止として週一回ミーティングを行っている。センサーについてまだ必要かどうかなど検討している。全国的に朝方の転倒が多いとのことだが、GHでも同様。夜間だけでもセンサーを使用する方もいる。歩く時に職員が捕まっているより一人でバランスをとって歩けるほうがその

人にとって良いので介助の仕方を変えたりという話はしている。

〈DS 管理者〉ヒヤリハットを読み合わせたり、歩行器の方が使用を忘れがちな
ので声がけをしている。リハビリではマッサージなど体の部分で関わったり、
体操やエアロバイクなどで転倒防止の対策をしている。

・食事について利用者はどう話しているか。

〈GH 管理者〉特に何がいいとかは聞いていないが、最近ムセが多かったり食事
形態について話す機会がある。日頃と違うお菓子を作ったり買ってきたりし
ていつもと違う場面作りをしている。

・（ご利用者へ）食事はどうか。

〈ご利用者〉普通食で食べられる。あまり自覚していない。おいしい。たくさ
ん作った食事は家で2人前、3人前で作ったものとは味が違う。有難い。

《地域ボランティア》

・認知症デイサービスとは？

〈DS 管理者〉市内の方で認知症を抱えている方が利用条件になる。現在利用し
ている方は何かしら認知症を患っている方。

〈GH 管理者より〉

・職員体制がなかなかと整わない中だが入居を少しでも進めたいと思っている。
老々介護の方や独居の方の申し込みを受けたりグループホームの必要性を感じて
いる。今の体制で出来ることをしていきたいと思う。

以上